

大雪支援感謝のことば

あの大雪から1か月がすぎ、ようやく普通の生活が戻ってきました。今回たくさんの方からふるさと納税やご寄付をいただき、福井県を思ってくださいている方々がこんなにたくさんいることに気づかされるととても良い機会となりました。災害も悪いことばかりではないですね。気持ちがとても温くなりました。本当にありがとうございました。是非春が訪れた福井県に遊びに来てください。

平成30年3月15日

こんなにたくさんの方々から励ましのメッセージをいただいていることに驚きました。応援して下さった皆様、本当にありがとうございます。

私は勝山市に住んでおり、雪には慣れていますが、ここまでひどいのは初めての経験でした。雪は大変でしたが、車がスタックした時に見ず知らずの方に助けていただくなど、人の温かさを感じる場面も多々あり、今となってはいい経験だったと思えます。

被害を受けて、大変な思いをされている方々に皆様からの寄付が使われてほしいです。新燃岳の噴火など災害は次々と起こりますが、ふるさと納税などを通じて、全国で助け合いながら乗り切りましょう。

平成30年3月14日

このたび県内外からふるさと納税や募金で支援いただいた皆様、除雪の支援に駆けつけていただいた皆様に心より御礼申し上げます。

小生転勤で福井市に来てから13年、その間に何度か積雪の多い年もありましたが、頼みの綱の路線バスが運休して出勤できなくなる事態は初めての経験でした。

今回の豪雪は大地震に匹敵する災害だと言ってくださいる方もおられました。物流が途絶えて食料品やガソリンが品薄になった時期もありましたが、幸いにも我が家では缶詰などの食料品を備蓄していたこと、ガソリンは半分になったら満タンにする習慣をつけていたことで、特にパニックに陥ることなく過ごせました。災害に対する普段からの備えが大切であることを改めて認識した次第です。

あと、除雪車両の妨げにならないように、各自が車での不要不急の外出を控えることが必要なことも今回の豪雪で身に染みて感じました。

平成30年3月12日

2018年冬季オリンピックの福井版というくらい、まるかぶりになった大雪。燃料不足と物資不足の不安の中、あっという間に何十センチも積もる雪と、ひたすら雪掻きをして立ち向かい、1週間以上除雪車が来てくれるのをただただ待ちわびる日々でした。ご近所さんと声掛け合い一つの目的に向かって気持ちを分かち合う経験ができた事が、救いでした。

オリンピックの賑わいの中、ようこそ福井を気にかけてくださり、ご支援ご声援ありがとうございました。

各地でも、異常気象現象に見舞われていて、大変です。お見舞い申し上げます。

平成30年3月5日

今回の豪雪で降った雪がだんだん解けてきましたが、いまだ街のあちらこちらにその名残があります。

私は越前市の山裾あたりに居を構えていますが、車がないと近くのスーパーに行くのにも不自由するような場所で、豪雪で道路が寸断され、食べ物や燃料の心配をして過ごしていました。

そんな中で、全国のみなさんからの温かい寄付や言葉をいただいたことを知りました。

とても感謝しております。

今後、別のどこかで誰かが困った時に、同じように善意のバトンをつないでいくことができればと思っています。

平成30年3月2日

こんなにたくさんの方が応援して下さることに驚き、メッセージを読んで心が温かくなりました。

本当にありがとうございました。

スーパーから肉や野菜がなくなってしまうようなことは初めての経験でしたが、今はもう普段通りに戻っています。

是非、福井にお越しく下さい。

平成30年3月2日

全国の皆さまに多くのご支援をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

困ったときには、こんなにもたくさんの方が助けてくださるのですね…。

家族や職場の人など、身近な人の支えはもちろん身に染みましたが、近所の人や通りすがりの人が声をかけ合うことや、出会ったこともない全国各地の方からあたたかいご支援やお言葉をいただいたことにとっても感動しました。

しんどいときこそ、本当に大切なものが見えてくるものですね。

今の感謝の気持ちを忘れずに自分にできることを考えて、今後何かのかたちで恩返しをしていきたいと思います。

本当にありがとうございました。

平成30年2月28日

56豪雪の話は人づてに聞いたことがありましたが、自分が生きている間にこんな経験をするとは思っていませんでした。

千人を超える方々からふるさと納税が寄せられていると聞いて、どんな人がふるさと納税をしてくださったのか、驚きと喜びでいっぱいです。

幸いなことに我が家は大きな被害を受けずにすみました。園芸用ハウスが雪の重みでたくさん壊れたとのニュースを見ましたので、そういった方々にふるさと納税のお金が届けられるといいと思います。

これまで自分はふるさと納税をしたことはありませんでしたが、お返しの気持ちでどこかで災害が起こったときにふるさと納税をしたいと思います。

平成30年2月27日

全国の皆さん、たくさんの方々のあたたかい励ましをありがとうございました。

福井はまだ残雪があるものの、通常の生活にもどりつつあります。

今回の大雪は私たちの生活に様々な弊害をもたらしましたが、一方で普段忘れがちな大切なことを思い出させてくれました。

ご近所とのつながり、助け合い・譲り合いの心、日常の有難さ・・・そして、遠くの見知らぬ人からの励ましの言葉がこんなにもうれしく、あたたかく感じることを初めて知りました。

春はもうすぐそこ。ぜひ、雪解けの福井へ遊びに来てくださいね。

平成30年2月26日

このたびは、福井県の大雪被災に対し、全国の皆様から数多くの応援のことばをいただき、こころより感謝申し上げます。

いつ止むとも知れぬ雪を恨めしく見ながら、車は使えずバスも止まり職場まで1時間半をかけて歩いて通いました。普段当たり前と思っていたことが当たり前ではないと気づき、不便な生活に気持ちもふさがちであった中、皆様からの心温まる応援メッセージを拝読し、目頭が熱くなりました。心が震えました。

「頑張れ福井県の皆さん！」「福井県の皆さま、ご自愛ください」「1日でも早く穏やかな日々が送れますように！」「遠くにいても、心は福井の皆様と一緒にです」「厳しいときには声を上げてください。福井魂を持った人が必ず助けます！」

辛いときにいただいた数々の言葉。あたたかな思いやりをお寄せくださった皆さまのことをけっして忘れません。本当にありがとうございました。

平成30年2月22日

多くの方から、本当にあたたかいメッセージをいただき、ありがとうございます。

56年豪雪を経験していない世代で、まさか雪で家から出られなくなるとは思っていませんでした。一人暮らしのため、吹雪の中を歩いてスーパーまで買いに行っても、何も商品がないため、そのまま引き返した日もあり、不安な気持ちでいっぱいでした。

そんな私に元気をくれたのが、全国からの応援メッセージです。『頑張っ！』『無理しないで』のことばに、本当に助けられました。

ようやく、雪も落ち着き、普通に戻りつつあります。でも、たくさんの『応援のことば』は、忘れることはありません。これからも私の原動力です。

最後になりましたが、たくさんの応援メッセージをありがとうございました。

平成30年2月22日